

会員数(51.9.1現在)

逗子地区 106名

葉山地区 216名

大船地区 81名

合計 403名

吟道月報

(社)日本詩吟学院 風会許可 神奈川

碩心会発行

51.9.5

第50号

編集

加藤 洌風

健康のバロメーター

声のつや

▲ 名歌手は全身これ象徴 ▲

ところで、つやがある声でも、洋楽と邦楽ではずいぶん違う。我が国の音声楽の創始者 坂田琴次博士は、邦楽と洋楽の発声法の違いとして、鼻咽腔の共鳴を便つかどうかをあげられた。邦楽の発声は口が下垂(俗に言うのどちんこ)の後ろで鼻咽腔に響かせ、西洋発声では声帯の直上部から下咽頭腔(舌根の高さから声帯の高さまで)を主に拡大して発声する。つまりのど下の奥の方で響かせるのである。

いずれにしても、「体全体で歌う」(吟ずる或は朗詠する)という言葉もある通り名歌手であればあるほど、ほとんど全身が存善の役

目を養す。その意味から声につやをもたせるには、全身の健康が大切なわけ。もちろんのど健康に留意するのは当然で、いろいろなエピソードが生まれるゆえんである。オペラ界ぎつてのある名歌手は、本番の日は大声でしゃべらず、ヘッドでも布にくるまって、じっと静養する。

かつて七十才過ぎまできれいな声で歌われた長唄の松永知風氏は声のために好きなをばくと酒を三十年以上手にしなかつたという。又、米寿を過ぎてなお美声で歌い続けていた津軽民謡の成田要竹氏も、たばこも酒ものまない。発声法に違いはあっても

洋楽、邦楽を問わず、美声の持ち主は全身の健康に留意している、ことを忘れてはならない。(おわり)

編者

碩心会本部関係

◎碩心会二十周年吟道大会

第二回準備委員会の開催について
左記により開催いたしますので委員の方の御参集方
ご案内いたします。

記

日時 十月二十四日(日)午後七時から

場所 蓮子 なぎさ会館(蓮子敬場)

◎吟道月報才四十九号(五一・八・五)掲載の栗本
部吟道大会(十月十七日)合吟に出吟予定の「一色
下山支部合同チーム」は「独吟、石木操風」に変更
になりました。

会員の異動

新会員

戸塚 支部	西ヶ谷保秀	戸塚区岡澤町一五三五 電〇四五(八)三〇六七
〃	今西 功	戸塚区新橋町一三七九 電〇四五(八)九三九六
松和 支部	早都宮義久	茅ヶ崎市東海岸南一の二三の19 電〇四六七(82)三五九三
〃	早都宮政子	同 右
〃	田中総之助	茅ヶ崎市東海岸南二の二の18 電〇四六七(82)一九一〇
〃	田中 要子	同 右
大船B支部	広田富美江	戸塚区岡津町八八〇一二 電〇四五(八)〇五二五

退会々員

221	一色C支部	小形 雄泉
271	戸塚 支部	三枝木峰泉
283	大船C支部	吉田貴志子
370	逗子A支部	丹野 英一
376	吟甫 支部	三塚 保
〃	〃	富樫 勇

移籍

372 (沼間支部)松代安史 大船(B)支部へ
 375 (上山口支部)村田紘山 堀内(A)支部へ

前任理事(逗子地区長)竹石豊風宅の電話番号が
 変更になりました。

〇四六八一七五—六四二七

訃報

▲(大船A支部長)山本栄風氏は、九月十四日、
 旅行先で急逝されました。謹んで哀悼の意を表し
 ご報告いたします。

なお、氏は九月十九日準師範受審予定の外、県
 本部長に申請し、同日付にて所範に追呈された。

▲堀内支部(B班)中山昇山氏の夫人は、九月七
 日病気のため逝去されました。謹んで哀悼の意を
 表します。